

学校教育目標

未来を心豊かにたくましく生き抜く
真の「生きる力」を育む教育を推進します。

《具体目標》

子どもたちが伸び伸びと充実した学校生活を送れるよう教育環境の整備に努め、次の視点から地域・横浜に根差した生き方の教育を推進します。

- 人の話を素直に聴き、課題解決に向けてねばり強くやりとげる姿勢を育みます。
- 物事の善悪をきちんと判断し、正義を重んじ、辛抱と我慢ができる心を育みます。
- 自分や人の生命と身体を大切にする力を育みます。
- 横浜を愛し、小さなことでも社会に貢献する態度を育みます。
- 様々な人とのコミュニケーションを通して、国際社会への視野を広げる心を育みます。

平成 29 年度学校経営にあたって

生徒一人ひとりが、安全で安心して生活し、心豊かに育ち、学校という舞台で主役となれる教育活動を進めていきたいと思えます。立場は違っても、学校に関わる様々な人たちの子どもたちへの思いは皆同じです。学校・家庭・地域の連携を図り、子どもたちを励まし支えていきたいと思えます。学校経営にあたり、校長として次のことを特に大切にしていきたいと思えます。

○「信頼」と「共感」、人権尊重の精神を基盤とする学校づくり

- ・生徒、保護者の皆さんの声に耳を傾け、一緒に考える姿勢を常に心がける学校体制づくり。
- ・生徒の人権を尊重した差別・偏見のない人間関係づくり。
- ・生徒との間に、「先生は守ってくれる」という信頼と安心感。『あいさつ』の励行。

○生徒が主役となる学校づくり

- ・生徒が学校生活の中で達成感を得られる指導・支援。
- ・行事等を活かしたリーダーの育成。
- ・生徒の良さを見つけ、「ほめる」「認める」など、生徒の自尊感情を高める教育環境づくり。

○基本的生活習慣の定着と生活指導の充実

- ・いじめ、暴力行為等の防止について指導の徹底。
- ・心身の発達に有効な食事や生活リズムについての助言。
- ・生徒に関わる様々な問題や課題の早期発見と迅速な対応、見逃さない取組。
- ・マナーやルールに関する生徒の規範意識を高める指導。

○子どもたちが主体的に参加し満足する授業と学力向上

- ・生徒が主体的に取り組む授業。「思考力・判断力・表現力」を高めるために言語活動を意識した授業や発問等の工夫。
- ・指導方法や評価方法の工夫と改善。今日の授業から明日の授業への改善につなげる授業づくり。授業力の向上。

《重視する学習課題》

- 「知」 各教科の知識・技術の習得とその知識を活用する力を育む学習。
- 「徳」 社会の基本的なモラルを身につけ、辛抱と我慢ができる心を育む学習。
- 「体」 自分や他人の生命や身体を尊重する心や態度を育む学習。
- 「公」 社会の一員として求められる資質や態度を育む学習。
- 「開」 人との関わりに向けての姿勢や態度を育む学習。

《成長過程の指導目標》

【1年】

- 「知」 問題解決に向けて、人の話を聞き、互いに協力して取り組む姿勢を育みます。
- 「徳」 人と人との出会い、関わりの中で、善悪を判断し、正義を重んじ辛抱と我慢ができる心を育みます。
- 「体」 自分や他人の生命と身体を大切にすることを育みます。
- 「公」 地域の活動に興味を持って関わる生徒を育みます。
- 「開」 様々な人々との関わり大切さを考える心を育みます。

【2年】

- 「知」 進んで課題に取り組み、解決に向けてあきらめずに最後までやり遂げる力を育みます。
- 「徳」 体験学習などを通して、善悪を判断し、正義を重んじ、辛抱と我慢ができる心を育みます。
- 「体」 自分や他人の生命と身体を大切にすることを育みます。
- 「公」 地域の活動に積極的に関わり、自らできることを実践する生徒を育みます。
- 「開」 様々な人々との関わりを通して、視野を広げられる力を育みます。

【3年】

- 「知」 自ら進んで課題を見つけ、その解決に向けて計画的に取り組む続ける力を育みます。
- 「徳」 自分の生き方を考える中で、善悪を判断し正義を重んじ辛抱と我慢ができる心を育みます。
- 「体」 自分や他人の生命と身体を尊重する心や態度を育みます。
- 「公」 広く社会に目を向け、自らができることを考え、積極的に貢献する生徒を育みます。
- 「開」 様々な人々に積極的に関わり、自分がすべきことを考え、実践できる力を育みます。